

2020年、LINEユーザーに最も支持されたメディアを表彰！ LINEユーザーの心を動かした記事を表彰する「LINEジャーナリズム賞」には、琉球新報『戦争の記憶、いかに次世代へ？Coccoが明かす「祖父母の教え」』

2020.12.16 メディア関連サービス

「LINE NEWS AWARDS 2020」にて発表

コロナ禍の情報流通をめぐる課題をテーマにメディア3社とLINEのトークセッションも開催

LINE株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：出澤 剛）は、芸能・文化・スポーツ・アーティストなど、各分野でNEWSになった2020年を彩る「話題の人」や、新しい切り口や見せ方でLINEユーザーの心を動かした「記事」、LINEユーザーに支持された「メディア」を、当社が運営するスマートフォンニュースサービス「LINE NEWS」が独自の基準で選出・表彰する、NEWSの祭典「LINE NEWS Presents NEWS AWARDS 2020」を開催し、同アワードにおける「LINEユーザーに支持されたメディア」および「LINEジャーナリズム賞」を発表いたしましたので、お知らせいたします。なお、コロナ禍での開催となる今年の「LINE NEWS AWARDS」は、初のオンライン配信での実施となりました。

※「話題の人」の受賞者については、こちらのプレスリリースをご参照ください：<https://linecorp.com/ja/pr/news/ja/2020/3546>

※「LINE NEWS AWARDS 2020」特設サイト：<https://news.line.me/newsawards/2020>

■LINEユーザーに最も支持された13メディアを表彰

「LINEユーザーに支持されたメディア」では、LINE公式アカウントを使ったニュース配信機能を外部メディア向けに提供する「LINEアカウントメディア プラットフォーム」に参画する345のメディアを13ジャンルに分け、ユーザー満足度を独自の指標で「エンゲージメントランク」としてランキング化。1年を通して、各ジャンルで最もエンゲージメントランクのスコアが高かったメディアを表彰いたしました。

暮らし・学び部門の「ママスタ」、女性部門の「Web eclat」、ニュース報道部門の「共同通信」、地方メディアII部門の「下野新聞」、地方メディアIII部門の「秋田魁新報」、ビジネス・テック部門の「PRESIDENT」の6媒体が初受賞、また、芸能・社会部門を受賞した「NEWSポストセブン」は、唯一の5年連続受賞となりました。

受賞媒体のコメントなどはこちらからご覧いただけます：

【趣味・暮らしカテゴリー】<https://lineaccountmedia.com/n/n82a35c673032>

【ニュースカテゴリー】<https://lineaccountmedia.com/n/nfcb4ca76adab>

2020年LINEユーザーに支持されたメディア

LINE公式アカウントを使ったニュース配信機能を外部メディア向けに提供する「LINEアカウントメディア プラットフォーム」に参画する345メディアを13ジャンルに分け、ユーザー満足度を独自の指標で「エンゲージメントランク」としてランキング化。1年を通して、各ジャンルで最もエンゲージメントランクのスコアが高かったメディアを表彰いたします。

趣味・暮らしカテゴリー



ニュースカテゴリー



*LINE MOOKおよび、Premium Article（有料記事）を配信する「週刊文春」と、球団ニュースを配信する「千葉ロッテマリーンズニュース」「埼玉西武ライオンズニュース」を除く。このうち、定時配信が週3回以上、かつ運用期間が3カ月以上のメディアが対象。

*各メディアにおける、ユーザーアクティビティ（回遊率やクリック率などの能動的アクション）をLINE独自に指標化し、ユーザー満足度として算出。

*地方メディア部門は、各メディアが所在するエリアの規模によってI～III部門に分類

また、各部門の上位5媒体は以下の通りです。

2020年LINEユーザーに支持されたメディア

上位5媒体

趣味・暮らしカテゴリー

ニュースカテゴリー

モノ・ファッション部門

- 1 Begin NEWS
- 2 BGP
- 3 ゲットナビ
- 4 senken trend news
- 5 WWDジャパン

グルメ・レジャー部門

- 1 東京バーゲンマニア
- 2 牧方つーしん
- 3 関西をもっと楽しむanna(アンナ)
- 4 Lmaga.jp ニュース
- 5 Kiss PRESS

暮らし・学び部門

- 1 ママスタ
- 2 サンキュ!
- 3 Conobie - コノビー
- 4 ベビーカレンダー
- 5 RoomClip mag

ニュース報道部門

- 1 共同通信
- 2 朝日新聞デジタル
- 3 NHK NEWS
- 4 時事通信ニュース
- 5 ブルームバーグ

地方メディアI部門

- 1 茨城新聞クロスアイ
- 2 埼玉新聞
- 3 神戸新聞NEXT
- 4 京都新聞
- 5 神奈川新聞

地方メディアII部門

- 1 下野新聞
- 2 琉球新報
- 3 上毛新聞
- 4 岐阜新聞
- 5 沖縄タイムス

地方メディアIII部門

- 1 秋田魁新報
- 2 福井新聞
- 3 KSB香川ニュース
- 4 徳島新聞ニュースPLUS
- 5 佐賀新聞LIVE

女性部門

- 1 Web eclat
- 2 Domani NEWS
- 3 LEEニュース
- 4 LDK the Beautyベストコスメ
- 5 PreciousNews

趣味部門

- 1 ベストカーWeb
- 2 くるまのニュース
- 3 乗りものニュース
- 4 ダ・ヴィンチニュース
- 5 Car Watch

カルチャー部門

- 1 Japaaan
- 2 MTV NEWS
- 3 ステージナタリー
- 4 4Gamer
- 5 シネマトゥデイ

芸能・社会部門

- 1 NEWSポストセブン
- 2 週刊女性PRIME
- 3 週刊新報 × デイリー新報
- 4 テックインサイト
- 5 女性自身

ビジネス・テック部門

- 1 PRESIDENT
- 2 中国の今を伝える 大紀元時報
- 3 東洋経済オンライン
- 4 ハフポスト日本版
- 5 3タウンネット

スポーツ部門

- 1 GDOゴルフニュース
- 2 AUTOSPORTweb
- 3 SOCCER KING(サッカーキング)
- 4 DUNKSHOOT
- 5 サッカーダイジェストWeb

■LINEユーザーの心を動かした記事を表彰する「LINEジャーナリズム賞」では、琉球新報の記事が受賞

LINE NEWSで2020年に配信された220万本を超える記事の中から、記事閲覧数・ユーザーのアクションなどをベースに、"新しい角度で物事を取り上げた" "新しい見せ方で伝えた" "読んだ人の心を深く動かした"といった観点に基づき、LINE NEWSが独自に選出した10記事の中から、特に優れた1記事を表彰する「LINEジャーナリズム賞」は、メディアだけでなく優れた記事そのもの、そしてその記事を書いた方個人に焦点を当てようと、昨年より実施しております。

LINEジャーナリズム賞 創設の背景や選考についてはこちら：<https://note.com/linenews/n/na3c940f4c6e1>

インターネットメディア協会理事／白鷗大学特任教授の下村健一氏を特別アドバイザーにむかえた今年の「LINEジャーナリズム賞」は、琉球新報・田吹遥子記者の『戦争の記憶、いかに次世代へ? Coccoが明かす「祖父母の教え」』が受賞いたしました。

LINE ジャーナリズム賞

2020年、LINE NEWSで配信された220万本を超える記事の中から、記事閲覧数・ユーザーのアクションなどをベースに、"新しい角度で物事を取り上げた" "新しい見せ方で伝えた" "読んだ人の心を深く動かした"といった観点に基づき、LINE NEWSが独自に選出した10記事のノミネートの中から、特に優れた1記事が表彰されます。



戦争の記憶、いかに次世代へ? Coccoが明かす「祖父母の教え」

琉球新報 デジタル推進局 デジタル編集グループ
田吹 遥子

語り部の継承者不足問題などに対して、「歌うことで伝える」や「身近なところから伝える」というCoccoさんの考えやアクションを通じて、より幅広い世代に対して戦争について考える機会をつくり出した点や、辺野古の基地問題などにも触れながら、課題意識をもって過去・現在・未来の「沖繩」を伝えていたといった点が受賞理由となりました。

■コロナ禍の情報流通をめぐる課題をテーマにメディア3社とLINEのトークセッションも開催

また今年は、新型コロナウイルスの感染拡大によって見えてきた情報流通をめぐる課題について、メディア3社とLINE NEWSがディスカッションするトークセッション「Media×Platform 情報流通のニューノーマルとは」を実施いたしました。



【モデレーター】

BuzzFeed Japan Entertainment 前編集長 伊藤大地氏

【パネリスト】

フジテレビジョン チーフビジョナリスト 清水俊宏氏

静岡新聞社 編集局 未来戦略チーム部長 松本直之氏

晋遊舎 LDK事業部長 木村大介氏

LINE株式会社 上級執行役員 ポータルメディア事業統括 島村武志



授賞式の様子

授賞式の様子は、以下よりアーカイブ配信をご覧ください（視聴期限 2020年12月31日まで）

【LINE LIVE】 <https://live.line.me/channels/3624560/upcoming/15478437>

LINEでは、今後も様々な取り組みを通じてユーザーにとって価値のある情報接点を提供するとともに、メディア各社との連携を強化することで、コミュニケーションプラットフォームとしての更なる成長・拡大を図ってまいります。